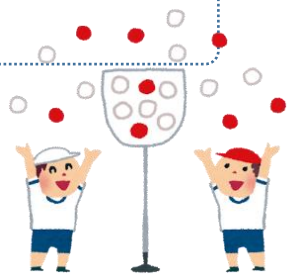
令和２年９月　発行

スクールカウンセラー　鉢野　ひさ子

宝達小学校 スクールカウンセラーだより ９月号

○ 運動会 おつかれさまでした



１年生は小学校はじめての運動会、６年生は小学校最後の運動会、２～５年生は去年より体も心も成長してむかえた運動会、どうでしたか？

今年は練習や準備の時間があまりなかったかもしれませんが、みんなで協力して全力を出し切った、そんな運動会だったのではないでしょうか。

○ 全校集会で話をしました

９月１日の全校集会で、保健委員会のお助けポストに入っていた

『友だちがけったり、たたいたりします。どうしたらよいですか』

という悩みについて、スクールカウンセラーが考えた解決方法を紹介しました。

皆さんが「こんな方法もあるのか。やってみてもいいかな」と思ってくれたらうれしいです。

○ 保護者の皆さまへ

大人は味方だよ！

『友だちがけったり、たたいたりします。どうしたらよいですか』と相談してくれたお友だちへ、スクールカウンセラーからは**「自分の身に危険を感じたら逃げる」**と答えました。そして、「困ったことがあったら大人（おうちの方や先生）に相談してほしい。大人は必ず助けてくれるから」と話しました。

「自分の身に危険を感じたら逃げる」

これは、子どもたちがいろいろな被害（暴力被害や性被害など）にあわないための最善策の１つです。

お友だちとのトラブルから、この先、子どもたちが巻き込まれるかもしれない被害への対処法、大きな被害にならないように危険を避ける方法を学んでほしいと思い、**「自分の身に危険を感じたら逃げる」**と答えさせてもらいました。

子どもたちの不安をあおることはよくありませんが、もしものときの適切な対処法＝「自分を守るための方法」を知っておくことは、子どもたちにとってとても大切です。

裏面に、『自分を守るための練習問題』を用意しました。お子さんに「こんなとき、どうする？どうしたらいい？」とたずねてみてください。そして、お子さんと一緒に「こんなときはこうしよう。こうしたらいいね」と話し合ってみてください。

令和２年９月　発行

スクールカウンセラー　鉢野　ひさ子

○ 子どもが自分を守るための練習問題

Q1.　友だちと公園で遊んでいると、知らない女の人が車からおりてきました。
「私はお母さんの友だちよ。この車に乗って、あなたのおうちまで案内して」と言ってにっこりしました。どうしますか。

A1. 女の人だからといって安心してはいけません。もし、本当にお母さんの友だちなら、あなたのうちを知らないはずはないでしょう？走ってうち（学校が近ければ学校）に帰り、うちの人（学校であれば先生）に知らせましょう。

Q2.　ひとりで留守番をしているとき、電話がかかってきました。
「テレビ局のものですが、どんな番組を見ているか調査しています。君は何歳で、なんという名前ですか」。答えてもいいでしょうか。

A2. テレビ局の人だからといって、信用してはいけません。「わかりません」と言って、電話を切りましょう。「お母さんにかわってください」と言われても、「今、私だけです」などと絶対に言ってはいけません。うちの人が帰ってきたら、すぐにこのことを知らせましょう。

『知らない人にはついていかない　性暴力被害をはねかえす絵本』より

―親子で読んで話し合うときにおすすめの絵本―

- 『知らない人にはついていかない　性暴力被害をはねかえす絵本』アーニ出版
- 『とにかくさけんでにげるんだ　わるい人から身をまもる本』岩崎書店

○ 子どもから相談されたときは...

「友だちから意地悪されて困ってる」「友だちとケンカした。どうしよう」など、お子さんから相談されたときは、まず**「話してくれてありがとう」**と言って、お子さんを安心させましょう。そして**「一緒にどうしたらいいか考えよう」**とお子さんの気持ちに寄り添ってあげてください。

子どもが大人の助けを必要としたとき、大人は軽くあしらわずにしっかりと子どもの訴えにこたえることが大切です。そうすると、大人への信頼感が増し、いざというときも相談しやすくなるのです。

お子さんのこと、子育てのこと、ご家庭のことなど、ご心配なことがありましたら、お気軽にスクールカウンセラーにご相談ください。相談の予約は、担任の先生や教頭先生を通してお申込みください。面談日時を調整いたします。

２学期の勤務日は、10/6・10/20・11/10・11/17・12/1・12/15（火曜日 12:30～15:30）です。